

## 重点課題2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

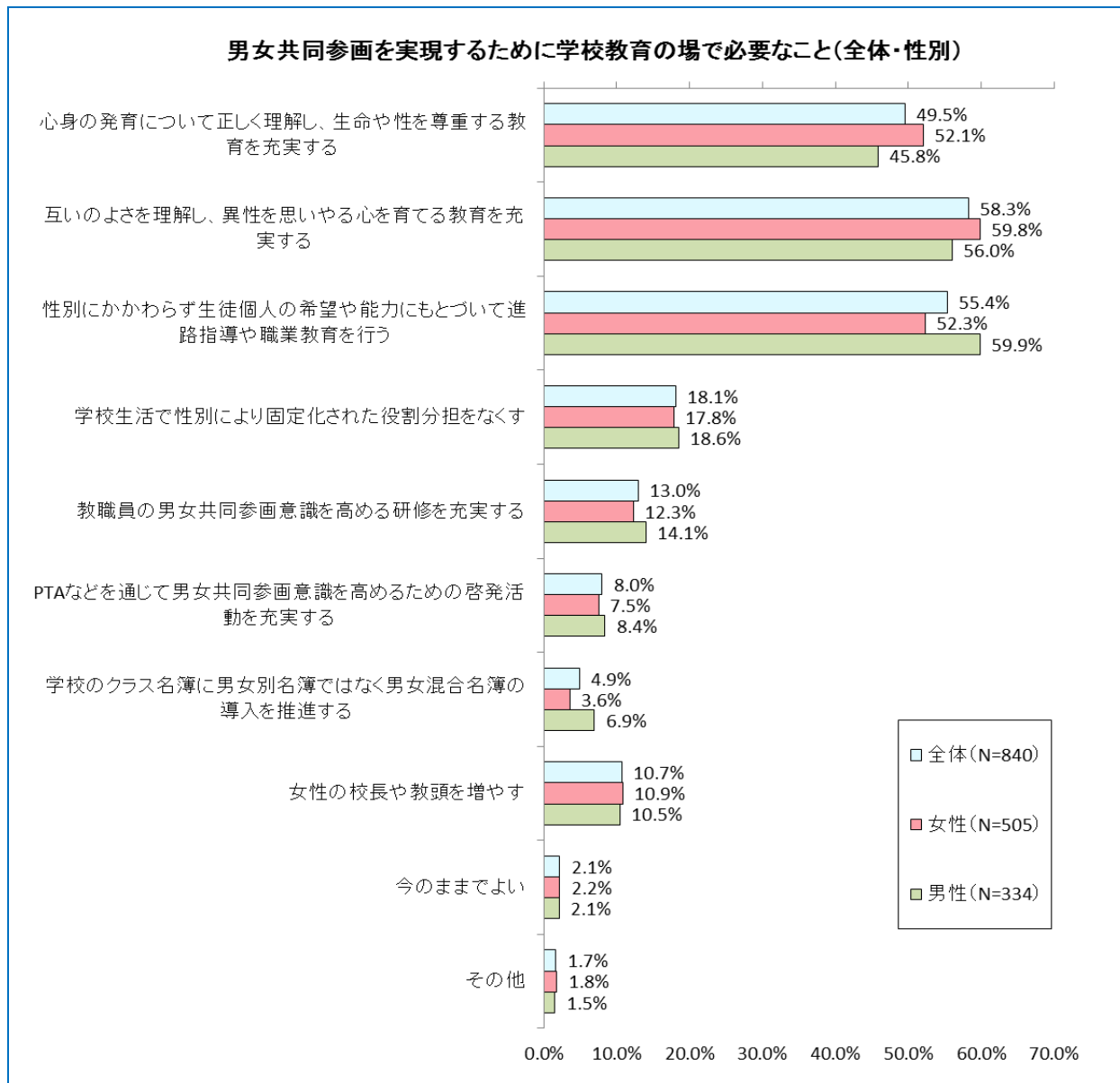
施策の方向 (1) 子どもへの男女共同参画教育の推進

施策の方向 (2) 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

### 1 統計情報等

#### (1) 男女共同参画を実現するために学校教育の場で必要なこと

市民意識調査によると、男女共同参画を実現するために学校教育の場で必要なこととして、「互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を実現する」(58.3%)が最も多く、次いで「性別にかかわらず生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う」(55.4%)となっている。



(平成28年度霧島市男女共同参画に関する市民意識調査) 複数選択可  
N=840 (男性=334 女性=505 性別未記入=1)

## 2 事業実施状況

### 施策の方向 (1) 子どもへの男女共同参画教育の推進

#### 具体的施策① 子どもへの意識啓発

男女共同参画の視点	子どもの頃から男女とも一人ひとりが自立と思いやりの意識を育み、人権の尊重と男女平等や男女相互の理解と協力の重要性について、学習の充実を図る必要がある。									
主な取組	<p>① 子どもへの男女共同参画教室を開催している。 (市民課)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止</div> <p>(1) これまでの開催実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <th style="text-align: center;">H30</th> <th style="text-align: center;">R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">開催回数</td> <td style="text-align: center;">5回</td> <td style="text-align: center;">3回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">参加人数</td> <td style="text-align: center;">191人</td> <td style="text-align: center;">79名</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H30	R元	開催回数	5回	3回	参加人数	191人	79名
年 度	H30	R元								
開催回数	5回	3回								
参加人数	191人	79名								

#### 具体的施策② 教育関係者への意識啓発

男女共同参画の視点	<p>① 進路指導等に当たっては、児童・生徒が性別にとらわれることなく、自らの生き方を考え、将来の目的意識を持ち、本人が主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けることができるよう配慮する必要がある。</p> <p>② ハラスメントは、対象となった人の個人としての名誉や尊厳を不当に傷つけ、人権を侵害するだけでなく、教育環境を害し、生活への深刻な影響を与える社会的に許されない行為であり、男女共同参画社会の形成を阻害する性別に起因する暴力の一形態である。</p> <p>その被害は潜在化しがちであり、個人的問題として矮小化されることもあるが、男女の固定的な役割分担、上下関係など男女が置かれている状況等に根ざした構造的な問題として把握し、対処していくことが必要である。</p> <p>③ 男女共同参画社会を実現するためには、市民一人ひとりが男女共同参画についての正しい知識や自立の意識を有することが不可欠である。このような意識を涵養し、男女がともに個性と能力を発揮するために、学校、家庭、地域、職場における教育・学習の果たす役割は極めて重要である。そのため、学校教育はもとより社会教育分野等、様々な教育関係者、指導者等の男女共同参画への理解が深められる研修の充実を図る必要がある。</p>
主な取組	<p>管理職研修会等において、各学校への相談窓口担当職員の配置、児童・生徒に対する相談窓口の周知について重ねて指導を行った。また、各種ハラスメント防止の徹底についても指導を行った。 (教育総務課)</p>

## 施策の方向 (2) 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

具体的施策① 男女共同参画の視点を踏まえたキャリア教育の推進と進路・就職指導の充実

具体的施策② 生涯にわたる学習機会の充実と能力開発の促進

<p>男女共同参画の視点</p>	<p>① 進路指導等に当たっては、児童・生徒が性別にとらわれることなく、自らの生き方を考え、将来の目的意識を持ち、本人が主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けることができるよう配慮する必要がある。</p> <p>② 多様化、高度化した学習需要に対応するとともに、特に、女性のエンパワメントに寄与するため、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことができる社会の構築を目指し、学習機会の提供や社会参画の促進のための施策を充実させる必要がある。</p>												
<p>主な取組</p>	<p>① 「人権教育は全ての教育の基本」という認識を全ての教員が理解し、道徳科の授業や学校行事等を通して、児童生徒のよりよい人生を切り開いていこうとする意識の向上を図った。また、中学校の進路指導においては、単なる進学指導とならないように、子供の将来を見通した指導助言が行えるように、教職員への指導を継続した。 <b>(学校教育課)</b></p> <p>② 生徒が国際的かつ広い視野で自分の将来を考えることを目的に例年実施している「グローバルアクティビティ」は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。 <b>(学校教育課)</b></p> <p>③ 霧島市内の企業の訪問や企業説明会を行う「霧島しごと維新」事業を通して、男女の区別なく活躍している人々の姿に触れながら、生徒自身が働くことの意義を学んだ。また、女子学生の理系進路選択支援プログラム等の取組を積極的に紹介し、生徒が様々な視点から自分の将来を考えられるような機会を設けた。 <b>(学校教育課)</b></p> <p>④ 市民のニーズを把握しながら、ふるさとのよさを知り発見するための講座や、生活に密着した講座を開設した。 <b>(社会教育課)</b></p> <table border="1" data-bbox="469 1637 1114 1794"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座数</td> <td>12講座</td> <td>10講座</td> <td>17講座</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>266人</td> <td>153人</td> <td>229人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H30	R元	R 2	講座数	12講座	10講座	17講座	参加者数	266人	153人	229人
年 度	H30	R元	R 2										
講座数	12講座	10講座	17講座										
参加者数	266人	153人	229人										

⑤公民館定期講座を実施し、いつでも、どこでも、だれでも気軽に受講でき、新しい自分を発見するきっかけづくりを積極的に支援している。

(社会教育課)

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止

年 度	H30	R元
講座数	133講座	134講座
参加者数	2,580人	2,841人

⑤きりしまっ子立志育成事業において、下記プログラムを実施し、性別を超えた異年齢集団活動等を通して、協力すること、他人を思いやる気持ちの大切さを学んだ。

(社会教育課)

※ 令和2年度のいざ行け！きりしま探検隊は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止

年 度	R元	R2
いざ行け！きりしま探検隊	40人	
科学体験in第一工大	112人	88人
立志塾	16人	20人

⑥ 市民向けのパソコン講座等を開催し、情報通信ネットワーク社会に対応できる能力の向上を図った。

(メディアセンター)

年 度	R元	R2
開催回数	41回	27回
参加者数	282人	249人

### 3 数値目標の推進状況

項目	現状値 (計画策定時)		現状値		目標値	
	数値	年度	数値	年度	数値	年度
子ども向けの男女共同参画講座の延べ実施数	6回	2016	19回	2020	30回	2022
男女共同参画に関する講座等を実施した 公立小中学校の割合	41.7%	2016	45.8%	2020	66.6%	2022
18歳以上で教育委員会主催の各種講座等に 申込をした者の割合	9.9%	2016	3.6%	2020	10.0%	2022